

また、初歩的な技術面の支援が必要なくなってきたら、
授業の組み立てや教材づくりなども支援してもらいましょう。

同ガイドブックではその他にも、
各導入段階での困りごとに合わせた Q&A や導入状況を
巻末のチェックリストで確認できます。

▼新たな時代に向けた学びの環境 ― 「1人1台」実現のためのガイドブック―
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_01860.html

◇◆ トピックス (2)
文部科学省「高等学校情報科に関する特設ページ」をリニューアル
.....◆◇

文部科学省は4月22日、
「高等学校情報科に関する特設ページ」をリニューアルし、
新たに「授業・研修用コンテンツ」「生徒用コンテンツ」に
動画を追加しました。

動画は、今年度から高等学校で履修が始まった
共通必修教科「情報Ⅰ」の単元などに分類されています。
「情報」の免許を保持している教員の
指導力向上を図るために追加されました。

例えば「情報やメディアの特性と問題の発見・解決：情報Ⅰ-①」では、
データと情報の違い、情報を伝えるメディア（テレビ、インターネットなど）の
違いなどの授業内容が紹介されています。
また、「統計」を使った問題の発見・解決を進めていくために、
評価基準をあらかじめ教員側が用意しておくなど
授業を進行する上でのヒントも紹介されています。

「情報セキュリティ：情報Ⅰ-②」では
インターネットを使う上で、
考えられる被害や注意すべき点などが紹介されています。
興味本位で知らず知らずのうちに犯罪行為になってしまう可能性もあるため、
情報セキュリティの仕組みについてしっかり学んでおくことが大切です。

同ページには、情報処理学会（IPSJ）が提供している
プログラミングの基本的な知識の動画も掲載されています。

高等学校情報科に伴った適切な指導を行うために
これらの動画を活用してみてもはいかがでしょうか。

▼高等学校情報科に関する特設ページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年5月12日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：9件 （2）誤送信：5件 （3）誤配布：4件

☆★ （4）誤掲示：3件 （5）誤廃棄：2件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年3月24日～2022年5月12日に合計23件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

大阪府 2022年4月6日 市立小学校 書類 11件
新潟県 2022年4月9日 市立保育園 書類 18件
北海道 2022年4月15日 町立中学校 USBメモリ 48件
栃木県 2022年4月19日 公立 書類 不明
埼玉県 2022年4月21日 県立高等学校 写真 38件
大阪府 2022年4月22日 市立小学校 書類 10件
宮崎県 2022年4月23日 小学校 書類 30件
大分県 2022年5月1日 市立中学校 電子メール 27件
大阪府 2022年5月9日 市立小学校 書類 1件

（2）誤送信

東京都 2022年3月24日 区立小学校 電子メール 40件
京都府 2022年3月30日 私立大学 電子メール 47件
兵庫県 2022年4月15日 県立大学 電子メール 136件
高知県 2022年5月6日 県立高等学校 電子メール 1件
山梨県 2022年5月9日 県 その他 電子メール 3件

（3）誤配布

新潟県 2022年4月8日 県立特別支援学校 書類 3件
高知県 2022年5月6日 県立特別支援学校 書類 3件

大阪府 2022年5月9日 市立小学校 書類 3件
大阪府 2022年5月9日 市立小学校 書類 1件

(4) 誤掲示

大阪府 2022年4月8日 市立小学校 インターネットサービス・アプリ 4件
青森県 2022年5月11日 県立特別支援学校 ホームページ・Web 約370件
宮城県 2022年5月11日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 40件

(5) 誤廃棄

神奈川県 2022年4月4日 市立小学校 書類 約100件
三重県 2022年4月19日 県立高等学校 書類 82件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

大阪市ホームページ／糸魚川市公式ウェブサイト／Security NEXT／北海道新聞「どうしん電子版」／
下野新聞 SOON／埼玉県ホームページ／Yahoo!ニュース／T O S オンライン／練馬区公式ホームページ／
ScanNetSecurity／神戸新聞 NEXT／高知新聞 Web サイト／NHK NEWS WEB／河北新報 ONLINE NEWS／
上越タウンジャーナル／カナロコ／三重県ウェブサイト／

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

◆GIGA スクール構想に対する校長として◆

座間市立東原小学校 校長 大谷 一

本校では、令和2年3月に児童一人1台の情報端末の配備が完了した。
「働き方改革」「ICTの推進」「新型コロナウイルス」は、
クロフネ来航からの開国、明治維新のようだと感じている。
PISA調査で日本の学校教育の良さと同時に、
国際社会と比較した課題が明らかになった。
知識偏重の学力観から思考力・判断力・表現力・学びに向かう力等への
バランスのよい学力観へのシフト、GDPに占める教育予算の低さ、
情報教育の遅れなどは閉鎖的な日本の学校教育にとって、
世界に門戸を開き世界と競合できる人材の育成という新しい視点をもたらした。

「働き方改革」「ICTの推進」「新型コロナウイルス」という3つの大きな波は、相互に影響しながら学校の意識改革を迫った。

元々変革を求めない体質の学校である。

従前はどうかだったのかを大切に安定していた組織である。

このような大きな変革への対応は歓迎されない。

しかし、世界の状況や国内の状況を理解するにつれ、

変革の必要性は教員にも浸透してくる。

そうすると、やるべきだと考える先生が出てきて

様々な実践が紹介されて大きな流れになってくる。

GIGAスクール構想による一人1台の情報端末の配備は国際的にみても、

このように短期間で一斉に全ての児童・生徒に端末を配備した国は無いと聞いている。

日本だからこそできたことなのかもしれない。

導入当初はどうしたらいいのか不安でしかなかった。

しかし、やらなければならないと決めたあとは、

何とかしてしまうのもまた日本の教員の素晴らしさなのだと思う。

本校では仰々しく教育委員を招いて情報端末の「貸与式」を行った。

そこで、私は次のような話を全校児童にした。

「日本は天然資源が乏しい国である。

大きな戦争で敗戦した日本は二度と立ち上がれないほどに壊滅的な損害を受けた。

世界中がこの国の未来を哀れんだ。

しかし、予想に反して日本は急速に経済成長を遂げることができた。

資源もない国がなぜか。

それは日本では人こそが優れた資源だからだと思う。

日本がこれからも豊かな社会を維持していくためには、

人という資源を大切にしていかなければならない。

そのため、他国と比べて日本が遅れている情報教育を充実させることで、

将来にわたって国際社会で活躍できる人になって欲しいと願って

一人1台ずつ貸与することになった。

また、今回は先生も一緒に端末を手にしたので、

先生がよく知っている訳ではない。

いつものようにわからないことがあっても先生に聞くのではなく、

先生に教えてあげようというくらいの気概で

みんなと先生と一緒に利用できるようになって欲しい。」

今までの学校教育では、先生がわからない状況で

児童に授業を行うことはほとんどなかったと思う。

しかし、今回は「先生がわかってから」を待ってくれない状況での導入であった。

「先生がわからなくても授業をすすめていくことが大切ということもある。」

GIGAスクール構想が学校にもたらしたのは

このような授業観の変容が大きいのではないかと感じている。

◆ 執筆者プロフィール ◆

大谷 一（おおたにはじめ）／
大学卒業後デパートに就職し、
11年勤務した後、中学の数学教師に転職する。
公立中学で7年、大学附属中学で4年勤務し、
その後教育委員会を7年勤め、中学教頭を3年勤め、
現在小学校長4年目である。
趣味は沖縄ひとり旅行。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書（第2版）」を公開 ◆◆……

「令和2年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」
調査報告書を更新しました（11月12日時点での調査結果を反映）。
研修会などでご活用ください。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア2階（株式会社JMC内）

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>